

平成30年度旭区運営方針「主な事業・取組」の振り返りについて

基本目標 未来へ可能性の広がるまち 旭 ～「安心」「健やか」「ふるさと」～

事業名		事業内容	振り返り
安心・安全なコミュニティ	2025年問題を見据えた大規模団地再生モデル構築事業/大規模団地における大学生による地域支援活動事業	<p>横浜市内には築35年以上経過した大規模な団地が約60団地あり、少子高齢化に伴い、医療・介護・生活支援・住替えのニーズ増大などの課題が顕在化しています。これらに対応するため、旭区内の4つの大規模団地(若葉台団地、左近山団地、ひかりが丘住宅、西ひかりが丘団地)において、企業・大学等とのパートナーシップにより地域と協働し、持続可能なコミュニティの維持・強化を目指しています。</p> <p>2年目となる今年度は、旭区の大規模団地再生ビジョンを地域と共有しながら推進体制を強化し、具体化に向けた取組を推進します。</p>	<p>【区政推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜市旭区大規模団地再生ビジョンの策定・公表(9月) SDGs若葉台フロント立上げ(MONET Technologies(株)の技術を活用したオンデマンドバス実証実験等企業活動誘致3件) 学校跡地等の公共施設活用の検討(旧ひかりが丘小学校跡地活用検討に関する事業者ヒアリング等) 大規模団地における大学生による地域支援活動モデル事業の実施 横浜国立大学生の4人が卒業に伴い退去し、新たに5人が入居(2月:4人、3月:1人) 大学生の地域活動(4件)等を住民に報告(3月)、研究室活動誘致(3件) <p>【高齢・障害支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護人材による地域支援活動モデル事業の実施 施設や関係機関の調整会議(4回)、地域活動への参加(2回) <p>【生活支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ひかりが丘地区の民生委員児童委員、ひかりが丘地区を担当しているケアマネジャーを対象に生活困窮者自立支援制度の説明会を実施(5月23日 参加者数34人) 左近山地区の民生委員児童委員を対象に生活困窮者自立支援制度の説明会を実施(7月18日、18人) 若葉台地区の民生委員児童委員を対象に生活困窮者自立支援制度の説明会を実施(7月21日、21人)
	災害に強い区づくり事業	<p>地域防災拠点、町の防災組織等の災害対応能力向上のため、防災訓練の支援や研修会を実施します。また、災害時医療体制の周知を進めるとともに、訓練等を通じ医療機関との連携を深めます。</p> <p>災害発生時における福祉避難所の円滑な運営を図るため、福祉避難所の連絡会や災害時開設・運営訓練を実施します。</p>	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災訓練(地域防災拠点:8月～3月、計35拠点、10,660人 地区連合:6月～12月、計16連合、約7,300人) 図上訓練(地域防災拠点8回、289人) 防災拠点資機材研修会(6月10日、約40人) 横浜防災ライセンス資機材取扱講習会(11月24日、約20人) 防災講演会(3月7日、265人) 区災害対策本部運営訓練(6月:風水害対策訓練、1月:地震対策訓練) 帷子川WEBカメラ運用(最大閲覧数:535回 7月28日台風12号時) <p>【福祉保健課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三師会合同災害時医療のぼり旗掲出訓練(10月22日～24日、参加区:旭区・保土ヶ谷区・緑区・泉区・瀬谷区) / 非常用通信機器による通信訓練(偶数月、計6回) 医療救護隊参集拠点における巡回診療用資器材の更新・整理(7月～11月) 医療救護隊参集訓練(9月) 災害時医療普及啓発リーフレットの班回覧及び関連施設への配布(4月、11月) Yナース(※)の登録事務(登録者数:23人 平成31年3月31日時点) Yナース・医師会とのミーティングの開催 <p>※Yナースとは、大震災発生時に、あらかじめ登録された医師、薬剤師、市職員と共に、横浜市防災計画に基づき「医療救護隊」として活動する看護職のことで。</p> <p>【高齢・障害支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所協定締結施設 65施設 福祉避難所連絡会(2回:7月6日、1月17日) 開設・受入実動訓練(2回:10月17日 弥生苑、11月29日 笹野台地域ケアプラザ) 机上訓練(1回:9月19日 今宿西地域ケアプラザ) 災害時要援護者支援の取組実施自治会町内会の割合 97%
	地域安全安心普及推進事業	<p>防犯・防災・交通安全が一体となった安全・安心意識啓発事業を行うとともに、自主防犯活動団体への支援を行い、「自らのまちは自ら守る」意識を高めます。また、新入学児童への防犯ブザーの配布など、こども安全安心事業を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 連合自治会町内会や単位自治会町内会が地域の実情に応じて、防犯パトロールを実施しその活動に対して助成(連合自治会町内会8団体、単位自治会町内会52団体) 新入学児童へ防犯ブザーの配布(2,200個) 旭区子ども110番の家実行委員会への助成

安心・安全なコミュニティ	新あさひみらい塾	自治会町内会や地区社会福祉協議会等の、地域で活動されている方々と、課題解決の手法や魅力づくりを共に学び、協働の地域づくりを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 講師を招いての講演やグループワーク、先駆的な取組を実践している近隣地区への現地視察を6講座9日開催(視察7箇所) 参加者:10連合自治会町内会から18名 開催期間:10月～1月 共催:(社福)旭区社会福祉協議会
	交通安全対策事業	旭区内の交通安全意識の向上と交通事故防止を図るため、高齢者交通安全対策、スクールゾーン対策及び違法駐車追放対策を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 違法駐車追放対策として連合自治会町内会に対して助成(9団体) スクールゾーン対策としてスクールゾーン対策協議会へ助成(24団体)、各協議会の要望に基づき安全対策を実施 交通安全意識の向上のため、交通事故再現(スケアードストレイト)を3回実施
	地域のつながりづくりに向けた民生委員の活動支援事業	<p>民生委員の活動を支援することにより、地域のつながりづくりを推進します。また、活動内容や制度が区民の皆様に広く理解されるよう普及啓発を進めます。</p> <p>次世代を担う人材育成として、小学校5・6年生を対象に、民生委員・児童委員と共に、ジュニアボランティア体験事業を展開します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員児童委員PRパネル展の実施 区役所1階情報発信コーナー(5月10日～5月16日)、「旭ふれあい区民まつり」(10月21日)での啓発 民生委員児童委員と友愛活動員など地域の福祉保健関係者が連携し、地域全体で見守りを実施(通年) ジュニアボランティア体験事業 328人参加 各地区でボランティア活動実施 就任式(8月1日)、パラスポーツ体験会(8月7日)、体験発表会(12月2日)開催等
	安全で安心な食と生活環境支援事業	<p>安全で安心な食と生活環境づくりのため、ハチ駆除ボランティアによる高齢者等世帯への支援や調理従事者への手洗いを中心とした食中毒予防啓発を行います。</p> <p>また、地域防災拠点で災害時のペット同行避難訓練導入支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ハチ駆除講習会、ボランティア連絡会(3回、52人) 食中毒予防衛生講習会(13回、394人) ペット同行避難訓練(7回、1,463人) 防災講演会(1回、265人)
	障害者ネットワーク推進事業	<p>障害者の社会参加の支援や障害者の交流を深めるためのスポーツ大会や健康増進出前講座を実施します。</p> <p>また、障害に対する理解を深める普及啓発の取組として、講演会を開催します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 旭区ふれあいスポーツ大会(2回、計308人) 地域精神保健福祉講座(2回、計47人) 精神保健福祉セミナー(2月23日、353人) 精神障害者文化まつり(2月19日～2月22日、168人) 障害者施設健康増進出前講座【新】(9回、計137人)
健やかな生活と成長支援	地域福祉保健計画の推進	子ども、青少年、障害児・者、高齢者等すべての人が健康でしあわせな生活を送れることを目指して、行政はもとより区民の皆様をはじめ、自治会町内会、社会福祉協議会、地域ケアプラザ、福祉施設、各種団体等が協働して、共に力を合わせて取り組みます。	<p>区役所、区社協、地域ケアプラザにより構成された、地区別支援チームによる地区別計画推進を支援するとともに、区民の皆様が多く参加されるイベント等を通じ、計画や計画に基づく地域の取組を紹介するなど普及啓発に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 旭区福祉保健推進会議(6月20日) きらっとあさひ地区連絡会(9月11日) 旭ふれあい区民まつりにおける地域福祉保健計画普及啓発ブースの出店(10月21日) 地域福祉保健計画地区別計画パネル展示(2月13日～2月16日) きらっとあさひ福祉大会(2月16日、411人) 地区別計画に関わる会議(各地区推進会議、地区別支援チーム会議):19地区で実施
	健康生活支援事業～旭ウォーキングムーブメント創生～	<p>区民の皆様にウォーキングを推進するため、ウォーキング指導者を育成します。</p> <p>また、距離などを示したプレートを作成し、自治会町内会を通して掲示することで、身近な地域でウォーキングを行う機会を作ります。</p>	<p>区民の皆様の健康維持増進と健康寿命延伸を目標に、運動習慣啓発としてウォーキングに重点を置いた事業を展開しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域でウォーキングを推進する人材育成講座の開催(ウォーキングフレンズ講座) <ul style="list-style-type: none"> 入門編200人、講師編40人、拡散編(地域での啓発活動)1,607人 旭区内地域ケアプラザ13館を巡るウォーキングスタンプラリー大会の実施(2月1日～3月8日) <ul style="list-style-type: none"> 2,500人参加 早春の帷子川沿いを歩くウォーキングイベントの開催(3月9日) <ul style="list-style-type: none"> 800人参加 健康プレートを9種類作成し、公園等に設置 <ul style="list-style-type: none"> ふるさと尾根道緑道ほか2地区で、①健康プレート73枚、②距離標16箇所、③歩幅確認サイン2箇所に設置 ※②③はふるさと尾根道緑道のみ 庁内横断検討組織「ウォーキングムーブメント チームあさひ」の設置 <ul style="list-style-type: none"> 検討会議開催(9回)
	保育所地域子育て支援事業	<p>養育支援の強化を図るため、臨床心理士の相談支援、保育士対象の研修を行うとともに、臨床心理士を目指す大学院生を保育所でインターンシップとして受け入れ、保育士と協働して子どもの健やかな成長を支援します。</p> <p>また、子育てイベント「あさひ子育て保育園ひろば」を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士による相談支援(公立6園429件、私立22園132件) 保育士対象の研修(2回、104人) インターンシップ生の受入れ(7人) あさひ子育て保育園ひろばの開催(10月24日、716人)

健やかな生活と成長支援	寄り添い型生活支援事業/寄り添い型学習支援事業	<p>養育環境に課題があり支援を必要とする家庭に育つ小・中学生に対して、生活・学習支援を行います。</p> <p>また、中学生の高校進学と日常的な学習について、支援スタッフ(大学生等)を中心に学習支援を実施するほか、高校進学後の中退防止の支援として、学習や生活相談等を受け付けます。</p>	<p>【こども家庭支援課:寄り添い型生活支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業利用登録児童・生徒数(9人。内訳:小学生3人、中学生6人) <p>【生活支援課:寄り添い型学習支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数:中学生51人、高校生10人 ・中学3年生(登録者21人)全員が、高校受験に合格 ・ロボットプログラミング教室(1回)、調理実習(1回)、高校模試(2回)、進路説明会(2回)
	区民スポーツ事業	<p>小学生から高齢者の方までが参加し、11種目を地区対抗で競う「旭区民スポーツ祭」や、19地区の予選を勝ち抜いたチームが対戦する「旭区大なわとび大会」など、旭区伝統のスポーツ行事を通じて区民の皆様の健康づくりを支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旭区民スポーツ祭の実施(6月～11月、7,999人 ※8月大会は、酷暑のため中止) ・旭区大なわとび大会の実施(11月17日、1,516人が参加) ・ズーラシア駅伝(1月26日、300チーム2,008人)
	旭区誕生50周年記念事業	<p>旭区は、平成31年(2019年)に誕生50周年を迎えます。50周年を機に、旭区の歴史や温もりある地域のつながりを改めて実感するとともに、次の50年に向けて新たな魅力やつながりが生まれる機会とするため記念事業を実施します。平成30年度は、機運醸成の広報や記念事業の取組を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旭区誕生50周年記念事業実行委員会認定事業の募集開始 ・小学生絵画コンクールの実施(応募数632作品) ・実行委員会、幹事会、広報部会、企画部会(各2回)、総務部会(4回)、記念誌編集委員会(3回) ・旭区誕生50周年記念事業基本計画の策定(9月) ・広報物品の作成・配布 ・カウントダウンボード設置(10月) ・広報動画(バス車内・駅等での放映用)の作成
ふるさとの魅力づくりと継承	商店街振興事業/あさひの逸品事業	<p>身近な商店街の魅力を伝えるとともに、「あさひの逸品」を区の魅力の1つとして発信するため、PR及び「あさひの逸品」認定店を巡るスタンプラリーを実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・追加認定の実施(4品) ・「あさひの逸品」と区内商店街の場所、魅力を紹介した冊子の更新・増刷・配布(10,000部) ・スタンプラリーの実施(11月～2月、懸賞応募数508件) ・「あさひの朝市」に「あさひの逸品」認定品取扱店舗が出店(11回)
	旭区の「農」の魅力PR事業	<p>様々な手法により地場野菜のPRを行うことにより、区民の皆様が区内農業への関心を高め、地産地消を推進します。</p> <p>農業を身近に感じる機会を設け、農業に関心を持つ環境を整えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「あさひの朝市」(12回:4～3月) ・「旭ふれあい収穫祭」(6月・12月、225人) ・農業体験事業(4月～12月、12組)
	水・緑による旭区の魅力アップ事業/旭区エコライフスタイル推進事業	<p>帷子川をテーマとした学習等を通じて、身近な自然環境への興味を深め、地域への愛着や自然環境の保全を推進します。また、省エネの取組紹介や緑のカーテンづくり講座を行います。</p>	<p>【水・緑による旭区の魅力アップ事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの飼育、学習会、鑑賞会、幼虫の放流の実施(2地区:若葉台、鶴ヶ峰・白根) ・帷子川の環境学習の実施(5校、約400人) ・帷子川の生き物の水槽展示(区役所1階) <p>【旭区エコライフスタイル推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しくお家でエコ!実践講座の実施(12回、約210人) ・緑のカーテン栽培講座実施(1回、約80人) ・小中学校、保育園等への緑のカーテン資材提供(小中学校15校、保育園等28園) ・燃料電池自動車(FCV)に関する出前講座の実施(小学校1校、約50人)
	街の美化運動事業	<p>区民の皆様・事業者・行政の協働による、地域清掃活動やポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止対策、地域緑化の推進によって、清潔できれいなまちづくりを推進します。また、二俣川喫煙禁止エリアの指定に向けて啓発活動を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美化推進重点地区(鶴ヶ峰、二俣川駅周辺)における早朝清掃の実施(月1回) ・地域との協働による清掃活動の実施(随時) ・美化推進重点地区における美化推進員による啓発及び簡易清掃の実施(通年) ・委託による不法投棄監視パトロール(30日間) ・不法投棄防止看板の作製・配布(15枚) ・自治会町内会等への花苗配布(春13,077ポット、秋13,082ポット) ・喫煙禁止地区内に横断幕の設置(2箇所)、啓発用ティッシュ配布